Entrance Examination

入試情報

- 2026年中学入試概要
  - ①募集定員・入試日程
  - ②グローバル入試について
  - ③A入試・B入試について



Entrance Examination

募集定員・入試日程

募集定員	中学校第１学年　１０５名（３クラス）	
入試日程		
入試区分	試験日	合否発表日
A入試	１月６日（火）	１月８日（木）
B入試	１月１２日（月・祝）	１月１４日（水）
グローバル入試	１月１８日（日）	１月２２日（木）

Entrance Examination

入試区分：グローバル入試

名古屋国際中学校のグローバル入試は、国際的な視野を持ち、世界が直面する課題に目を向け、その解決に主体的に取り組む意欲ある生徒を選抜するための、専願制による独自の入試制度です。この入試では、学力試験だけでは測ることのできない資質や活動成果を多面的に評価し、本校の教育理念に対する共感と理解の深さを重視します。

入試区分	試験科目と配点	
グローバル入試	一般クラス・インターナショナルクラス共通	
	国語（５０分）	１００点
	算数（５０分）	１００点
	グループ面接	１００点
	提出書類	５０点
	合計	３５０点

Entrance Examination

入試区分：グローバル入試

グローバル入試の出願資格：

a. 本校を強く志望する動機を持ち、自己アピールできる者。
b. 国際バカロレア初等教育プログラム（PYP）を2年以上履修している者。
c. 保護者の海外勤務に伴う海外在留期間が学齢期において2年以上の者。
d. 実用英語技能検定準2級相当以上を有している者。

グローバル入試登録
&
入試詳細

グローバル入試の流れ：

グローバル入試登録 【随時】	プレテスト 【10月25日（土）】	グローバル入試相談 【11月15日（土）より】	出願へ
グローバル入試を検討している方は必ずご登録ください。入試情報や対策講座の案内が届きます。	名古屋国際中学校の国語と算数の模擬問題を解答し、出題傾向を把握することができます。クラスごとの判定もお渡しします。	アドミッション・オフィサーとの事前面談を受け、出願書類原本を受領してください。	

Entrance Examination

入試区分：A入試・B入試

A入試およびB入試は学科試験による選抜制度です。出願にあたり、在籍小学校の成績表の提出は不要です。

<table>
<tr><td>入試区分</td><td colspan="4">試験科目と配点</td></tr>
<tr><td rowspan="10">A入試・B入試</td><td colspan="2">一般クラス</td><td colspan="2">インターナショナルクラス</td></tr>
<tr><td>国語（５０分）</td><td>１００点</td><td>国語（５０分）</td><td>１００点</td></tr>
<tr><td>算数（５０分）</td><td>１００点</td><td>算数（５０分）</td><td>１００点</td></tr>
<tr><td>理科（３０分）</td><td>５０点</td><td>*英語（５０分）</td><td>１００点</td></tr>
<tr><td>社会（３０分）</td><td>５０点</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>合計</td><td>３００点</td><td>合計</td><td>３００点</td></tr>
<tr><td colspan="4">専願・併願の別</td></tr>
<tr><td colspan="2">一般クラス</td><td colspan="2">インターナショナルクラス</td></tr>
<tr><td colspan="2">専願・併願</td><td colspan="2">専願のみ</td></tr>
</table>

*インターナショナルクラスの英語はリスニングを含みます。

Entrance Examination

A入試・B入試における諸制度

優遇措置制度：

①A入試およびB入試において、同一クラスを同時出願した場合に限り、1回分の受験料でA入試とB入試の両方を受験することができます。

②A入試およびB入試において、同一クラスを同時出願した場合に限り、各科目ごとにA入試得点とB入試得点の高い方を用いてB入試の合否判定を行います。

奨学生制度：

B入試を受験して入学する生徒のうち、建学の精神「開拓者精神」を理解し、心身ともに健康で人物および学業成績が優秀であり他の生徒の模範となる生徒（上限2名）に対して、奨学金を支給します。
なお、学力奨学生の資格は1年間です。毎年度末の成績と特記事項（生活状況や活動状況、特技や資格など）を元に上限2名を選定します。